

よしお通信 新春号 No.23

発行 渡辺喜夫 新発田市西名柄（下名柄）3129 ☎22-6724

「あいさつ」

昨年行われた衆議院選挙では、皆様方の絶大なるご支援により漆原良夫（北陸信越ブロック比例）の当選と共に公明党は、改選前より十議席増の三十一議席となり、大勝利することができました。大変にありがとうございました。



漆原良夫衆議院議員（国会対策委員長）と公明党新発田南支部の石山洋子支部長と共に必勝を誓い合う（平成二十四年九月）市民文化会館ロビーにて

まっすぐ見つめ、まっすぐすすむ。

私は平成十九年四月初当選から、これまで約五年八ヶ月間、新発田市議会議員として、生活現場の課題解決へ、また市民の代弁者として活動してまいりました。これからも一人でも多くの方々の役に立ちたいと決意を新たにしております。

豊かな自然と歴史をあわせ持つ新発田市が日本一住みやすく、働きやすい、まさに、そして多くの市民が輝ける地域社会のために、全力で挑戦してまいります。



新潟東港へ東北電力火力発電所を視察する。

一般質問は毎議会行っています。



昨年十二月議会では、「小型家電リサイクル法によるレアメタルの回収について」「ジエネリック医薬品の推進について」「姉妹都市や韓国、中国等との国際交流のあり方について」三点、市の方針を伺った。

公明党新発田市議団は本年も効果的な提案をしてまいります。

民主党政権による3年3ヶ月に亘る稚拙な政権運営は、全国の地方自治体に影響を与えました。新発田市においても例外ではありませんでした。厳しい行財政運営に対し、小さな財源で大きな成果の出る提案や事業運営を本会議や常任委員会など、ことあるごとに主張してきました。

新年度に向けて、市は様々な事業を抱え、更に厳しい行財政運営を強いられると予想されますが、地方と国の唯一のネットワーク政党、公明党新発田市議団として、本年も、行財政改革・福祉政策・教育施策・安心安全等、市民生活に密着する提案をしてまいります。